

2012年 JMRC 群馬ラリーシリーズ案内

●シリーズ概要

ラリーの老舗、群馬県では初心者から上級者まで幅広く楽しめるイベントを開催。今年は前年より2戦減り、全4戦でのシリーズ争いとなります。初心者の方でもシリーズ全戦に参加することによりシリーズ終盤は優勝争いに顔を出すことも可能！？

林道を使用したスペシャルステージ(以下 SS)が再開されてから5年が立ち、SS が速いコンビが優勝！が定着してきた群馬シリーズ。ラリー初心者でも難しい設定はなく、SS で速い者が勝つ。単純明快なラリーを楽しんでみませんか？さらにシリーズの中で設定される SS を走れば柔軟な運転技術、車のセッティング能力が身につくことは間違いなし！もちろん、今年も林道での SS を開催予定です。気軽にラリーはもちろん、将来上級イベントにステップアップした場合のラリー全般における基礎技術を習得するには最適なイベントです。その中でドライバーとコ・ドライバーの連携を深めて、タイトルを手にしてWRCへの第一歩を踏み出しましょう。

30,000円前後のエントリーフィーを予定、昨年に続き2012年もラリーに参加してみたいがなかなか踏み出せない、そういった若者を対象に応援。フレッシュマンに対してラリー参戦を応援する制度を用意します。サービスを連れてこれなかった方へのサービス紹介制度や荷物預かりサービス等を実施し、より気軽に参加できるラリーの開催に努めていきます。その他にも、新しい制度を充実させていきます(下記に記載)。

●チャレンジクラス新設

ラリータイヤを持っていないのでラリーに参加するのを悩んでいる方、ラリーに興味のある方、色々、いらっしゃると思います。そこで、ラジアルタイヤ(Sタイヤを除く)で走れるチャレンジクラスを設定しました。

●詳細は JMRC 群馬ホームページ: <http://members.jcom.home.ne.jp/jmrc-gunma/>をご覧ください。

●シリーズカレンダー

	開催日時	大会名称	主催クラブ	格式	場所	SS/路面
第1戦	4/28-29	カーボンオフセットラリー	浅間モータースポーツクラブ	D	群馬250km	有り/ターマック
第2戦	6/17	あさま隠山岳ラリー2012	オートスポーツクラブあさま隠	D	群馬150km	有り/ターマック
第3戦	8/18-19	Play-Stage ラリー	プレステージモータースポーツクラブ	D	群馬150km	有り/ターマック
第4戦	9/29-30	第58回チームif山岳ラリー	オートスポーツクラブチームif	D	群馬250km	有り/ターマック

※路面については、変更が入る可能性があります。各大会の特別規則書を確認して下さい。

●連絡先一覧

	クラブ名	担当者	TEL	FAX	携帯	メール/備考
第1戦	ASAMA	高桑 春雄	0277-20-4633	0278-66-1000	080-1987-0199	office@n-mosco.com
第2戦	あさま隠	片貝 努	0279-67-2425	0279-67-2425	090-8894-4684	katakai@xp.wind.jp
第3戦	PRESTIGE	黒崎 直樹	027-231-1440	—	090-4167-2595	Kuro_ani@yahoo.co.jp
第4戦	チームif	篠原 悦男	0276-74-2356	0276-72-7243	090-8941-0981	fwhw5937@mb.infoweb.ne.jp

注:連絡については常識ある時間帯にお願いします。

●競技会規則

本競技会は日本自動車連盟(JAF)公認の基に FIA国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した **2012JAF国内競技規則**および**2012年JMRCラリーシリーズ関東地域統一規則書**および各競技会特別規則にしたがって開催される。なお、詳細についてはそれぞれの規則を閲覧のこと。

●参加資格

- 1台の車両に乗車する定員はドライバー、ナビゲーター(コ・ドライバー)の2名(以下クルー)とし、**2012年**のJAF国内競技運転者許可証B級以上の所有者でなければならない。
- クルーは本競技会に参加申込を行う時点において、参加車両を運転するのに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していなければならない。
- 2.における参加資格を満足しない場合でも、オーガナイザーの判断により参加を認める場合がある。
4. 20歳未満の者が参加する場合には、親権者の承諾を必要とする。

●参加料

1台につき 30,000円前後を予定(宿泊を伴うイベントは宿泊費を上乗せする場合がある)。

また、クルーがJMRCスポーツ保険制度/後払見舞金制度に加入していない場合、1名につき1,000円増額とする。

詳細は各競技会特別規則書に明記される。

●ラリー保険の加入

ラリー保険は個人で加入することを強く推奨する。

個人加入できない場合はオーガナイザーが団体加入を行なう。但し、各競技会特別規則書等で記載の〆切日程を厳守すること(〆切日程を過ぎた場合、加入できない)。詳細は各オーガナイザーに確認のこと。

●参加車両(概略)

1. 2012年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に合致し、下記の搭載備品を備えたRN・RJ・RB・RF車両とする。
OK SOSボード2枚、非常用停止表示板2枚(三角停止板)、非常用信号灯(発煙筒)、赤色灯、牽引ロープ、救急薬品、及びラリー車両規定第2編第2章第3条)に定められた消火器(内容量:1.5kg以上、但し、ラリー車両規定に合わせ2.0kg以上を推奨する)。尚、3.2)に定める自動消火装置の取付けは安全上、強く推奨するが装着を義務づける物ではない。
安全装備:クルーが着用するものは、**2012年国内競技車両規則第4編付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメット**(「スピード行事競技用ヘルメットに関する指導要項」に従ったグレード以上、かつ、製造後「10年」経過したものは使用してはならない)、およびレーシングスーツを着用することを義務とする。レーシングスーツとは以下の①~④を参照のこと。①全体が1体式となった(いわゆるレーシングスーツ)形状であること。②表地が防炎性素材生地であること。③1枚(1層)以上の防炎性素材生地の裏地を有していることが望ましい。④救出の際に利用できる肩位置の引き手(肩章)を有することが望ましい。
2. 2012年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第3章、第3条エンジン排気系の規定に参加車両特別規則として以下の条文を追記する。マフラー及び排気管は変更、交換の有無に拘らず①~③の規定を満たすこと。なお、マフラーは変更可とするが、排気音量は排気音測定器を使用し、平成9年までに初度登録された車両は、エンジン搭載位置に関係なく103db以下。平成10年以降に初度登録された車両は、MR・RR車100db以下、その他の車両は96db以下。測定方法においては、該当車両の最大エンジン回転数の75%まで回転を上げ、数秒間保持した後に急速にスロットルを戻し、アイドリング回転に下がるまでの最大値を計測とする。①排気管は左向き、または右向きに開口していないこと。②触媒コンバーター、排気ガス再循環装置、O₂センサー、二次空気導入装置等が当初の通り取り付けられていること。③遮熱板等の熱害対策装置と同一の構造を有し、かつ同一の位置に備えられ、損傷または脱落がないこと。但し、オーガナイザーが競技運営上、マフラー変更が不適切と判断した場合、各競技会特別規則書によりマフラー交換を規制する場合がある。
また、吸気音量の防止の目的の為吸気系における空気を取り入れる為のダクトの追加は禁止する。エアクリナーエレメントの交換は当初の方式を保っていれば自由、なおエアクリナーBOXは当初のまま無ければならない。但し、過給器付車両については、エアクリナーBOXより過給器までの配管をリストラクター取付けの為の最小限の加工及びそれによる部品の交換は問わない。(各競技会特別規則書を参照のこと)。
3. クルーの保護を目的に参加車両は6点式以上のロールバーを装着することを義務とする。更に、乗員保護を目的とする追加バーの装着を強く推奨する。ロールバー及び追加バーの取付け要項は2012年JAF国内競技車両規則第1編、第2編の安全規定におけるロールバーまたは、ロールゲージの項を参照し取り付けること。また、4点式以上の安全ベルトを装着することを義務とする。安全ベルトはJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定 第2章安全規定 第2条に合致したものの装備を強く推奨する。
安全性の観点から、シートベルトに裂傷が認められるものを使用している場合は、競技会への参加を拒否することがある(※2012年JAF国内競技車両規則に準拠し、Y字レイアウトの胸部拘束用ベルトの使用は禁止する)。また、シートベルトの取付けは、2012国内競技車両規則第4編ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱に準拠し取り付けること(アイボルトは既存のシートベルト取り付け部に装着することを強く推奨する。**また、シートレールに追加された部位への装着は不可とする**)。2012年JMRC群馬ラリーシリーズではシート/シートベルトの取付け方法、車室内の積載物の固定方法について、厳重に確認する。
4. タイヤは、2012年JAF国内競技車両規則第2編 第3章 第6条 2項のタイヤの規則に準拠すること。
使用タイヤは、原則グラベル用ラリータイヤに限る。但し、グラベル用ラリータイヤに適応サイズのない車両、13インチを使用する車両については、セミスリックタイヤ以外の一般ラジアルタイヤの使用を認める場合がある。グラベル用ラリータイヤ以外で参加予定の場合は、使用タイヤについて、シリーズ事務局、または、各オーガナイザーに確認のこと。**一般ラジアルタイヤ参加者特別クラスを設定する場合がある**。タイヤはいかなる場合に於いてもスリップサインが出ていないこと。
5. リストラクターの装着は、2012年群馬ラリーシリーズでは、2009年同様にリストラクターの装着の義務化は行なわない。
※但し、2012年JAF国内競技車両規則および2012年JMRCラリーシリーズ関東地域統一規則書および各競技会特別規則に準拠すること。

●クラス区分

Aクラス: 排気量1500cc を含み1500ccまでの車両。

Bクラス: 排気量1500ccを超え3000cc を含み3000cc までの車両。

Cクラス: 排気量3000cc を超える車両。

特別クラス: 各競技会特別規則書により上記以外のクラスを設定できるがその部門への参加の場合シリーズ表彰対象外とし、シリーズポイントは与えられない。

*過給装置付エンジンの車両は、その公称気筒容積にガソリンエンジンは係数1.7 ディーゼルエンジンは係数1.5 を乗じ、それによって得られた値に相当する車両として扱われる。
*ロータリーエンジンについてはレシプロエンジンと同等排気量として扱われる。

●チャレンジクラス

参加車両は上記記載の参加車両規則に従っていること。

クラス区分: 排気量によるクラスわけはいたしません。

駆動方式によるクラスわけはいたしません。

各戦の表彰の有無は主催者の判断に従う。

シリーズ表彰対象外となります。

●賞典

各クラス1～3位、JAFメダル、トロフィーまたは楯、副賞。その他賞典及び賞典の内容は各競技会特別規則書にて示す。

●シリーズポイント及び表彰

1. シリーズポイント

シリーズポイントは各クラス共ドライバー、ナビゲーターに対し、表のとおりポイントを与える。

但し、グラベルSSを含むラリーは、下記のポイントに1.2倍し小数点第1位を繰り上げたポイントを与える。

(参加台数に関わらず同様のポイントとする。)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ターマックPt	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1
グラベルPt	24	18	15	12	10	8	5	4	3	2

2. 有効戦数及び最低参戦数

全戦のポイントを有効とし、同一クラスにおいて最低2戦以上参戦した場合にシリーズ表彰対象とする。

3. クラス成立

各クラス1台から成立するものとする。

4. シリーズ表彰

シリーズ表彰は各クラスにおいてドライバー、ナビゲーター両部門を原則6位まで表彰する(但し、シリーズ対象者の30%以内とする)。

複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、参加回数の多い者、上位ポイント早期獲得者の順で決定する。

その他疑義が発生した場合はシリーズ運営委員会が決定をする。

5. シリーズ特別賞

シリーズを通し、優秀な成績を収めたドライバー1名を『2013年 BICC RALLY of TSUMAGOI』へ招待する。

●シリーズ表彰式

本年度のシリーズ表彰式は対象者に別途、郵送等により告知する。

●練習走行の禁止

公道での練習走行を禁止する。発覚した場合、群馬ラリーシリーズを含むJMRC関東地域のラリーシリーズすべてにおいて参加を拒否することがある。

●その他

・フレッシュマン登録制度 : 25歳以下の方対象に登録し、かつ、全戦に参戦された方へキャッシュバック。

・新規参加者紹介制度 : 2009/2010年群馬ラリーシリーズに参戦していないドライバーを紹介していただいた方へ小額ですがキャッシュバック。各競技会での申込み時に簡単な書類の提出が必要です。なお、2011年シリーズに一度でも参加しているドライバーは紹介制度の対象外となる。

・サービスを連れてこられなかったエントラントの方へ『サービス紹介制度』、または、『荷物預かりサービス』を実施。

・マシントラブル等で動かなくなった方へラリーカーとともに帰宅できる『レッカー紹介制度』を実施。

・2012年は全戦、エントリーフィーを食事込み(一食分)で設定予定(食事については各競技会オーガナイザーに確認のこと)。

■事務局／運営委員会

代表者 原沢 俊一
サブ 高桑 春雄
近藤 雅嗣

090-1400-9715

080-1987-0199

090-8592-0119

nobi77nobita@yahoo.co.jp

takuwa@n-mosco.com

不明な点がありましたら、気軽に連絡を下さい。